

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
4年	(1)	選択式	3分	易・普通・難

問題 1
話し合いで出た次のような「けがをしやすい場所やけがの原いん」を種類別に整理することになりました。

下のカードからそれぞれの欄に合うものをえらび、残るカードがないように、すべてのカードを移動させましょう。
【解答方法】ドラックするが左のカードを選んだあとに移動先のわくを指すと、カードが移動します。もとに戻すときは□ボタンで戻します。

けがをしやすい場所 (校しゃ内)

けがの原いん

<出題のねらい>

話し合いで出た意見について、「けがをしやすい場所」と「けがの原いん」を種類ごとに、適切に整理することができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」課題を明確にする。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

課題を明確にするためには、情報を正確に理解し適切に整理することが大切です。情報活用能力を育むために、児童が自分で情報を整理する場面を意図的に授業に設定するようにしましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 「けがをしやすい場所」と「けがの原いん」を正しく分類できている。	場所：廊下、教室 原因：不注意、むちゅうになって運動、きまりを守らない、雨や風などの天候
2	「けがをしやすい場所」と「けがの原いん」を正しく分類できていない。	場所：廊下、教室、雨や風などの天候 原因：不注意、むちゅうになって運動、きまりを守らない
3	すべてのカードを分類できていない。	場所：廊下、教室 原因：不注意
0	無解答	—

個票への記述
「けがをしやすい場所<校しゃ内>」と「けがの原いん」のそれぞれに合うカードをえらぶことができます。意見やじょうほうを種類ごとに整理する力が身についていますので、ふだんの学習や生活の中でもその力を生かしていきましょう。
カードの内ようをよく読んで、「けがをしやすい場所<校しゃ内>」や「けがの原いん」に合うようにえらびましょう。一つ一つ丁寧に取り組むことで、上手に整理ができるようになります。
カードの内ようをよく読んで、「けがをしやすい場所<校しゃ内>」や「けがの原いん」に合うようにえらびましょう。一つ一つ丁寧に取り組むことで、上手に整理ができるようになります。
この問題は話し合いで出た意見を整理する問題です。カードの内ようをよく読んで、「けがをしやすい場所<校しゃ内>」や「けがの原いん」に合うようにえらびましょう。一つ一つ丁寧に取り組むことで、上手に整理できるようになります。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
4年	(3)	選択式	3分	易・ 普通 ・難

問題 3

ひなたさんのグループは、課題をかい決するための目標を右のような方法で決めました。ひなたさんのグループは、どのような方法で目標を決めたのか、ア～ウの中から1つ選びましょう。

<方法>

ア 同じ点やちがう点をもとに
イ よい面とわるい面をもとに
ウ 調べたことと話し合ったことをもとに

<かい答らん>

{ **目標を決める方法** }

<出題のねらい>

調べたことや、話し合ったことをもとにして、目標を決めることができるかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」…自分の考えを形成する

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

課題を明確にした後、課題を解決するための目標を決めることが大切です。児童同士の話し合いでは、目標をどのような過程で決めていけばよいか、指導していきましょう。日常の授業でも、様々な思考ツールを取り入れていくと、児童同士の話し合いの中でも活用できるようになるでしょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)		解答例
1		ア を選択している	ア
2		イ を選択している	イ
3	◎	ウ を選択している	ウ
0		無解答	—

個票への記述
目標を決めるときには、いろいろな方法があります。(3)の問題では、ほけん室の記ろく表からわかったことと、話し合いであがった意見をもとに目標を決めています。意見をまとめるときには、どのような意見が出ているのか、よく考えてみましょう。
目標を決めるときには、いろいろな方法があります。(3)の問題では、ほけん室の記ろく表からわかったことと、話し合いであがった意見をもとに目標を決めています。意見をまとめるときには、どのような意見が出ているのか、よく考えてみましょう。
か題を解決するために、調べたことと話し合ったことをもとに目標を決めていることが理解できています。目標の決め方には、いろいろな方法があるので、自分たちで試しながら取り組んでみましょう。
目標を決めるときには、いろいろな方法があります。どのようなことをもとにして目標を決めていけばよいか考えていきましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
4年	(4)	選択式	4分	易・ <u>普通</u> ・難

ひなたさんたちは、話し合いをした結果どのような絵文字を作ったと考えられますか。①～④の中から最もふさわしいものを選びましょう。また、選んだ絵文字の説明として合うものをア～エから選びましょう。

【絵文字】

【説明】

ア まるを小さくして、行動を自立たせるようにしている。

イ 「よいこと」を強調するために、「よいこと」をしている二人の絵をならべている。

ウ 「してはいけないこと」と「よいこと」の両方が伝わるように、二人の絵をならべている。

エ 大きな記号と絵を用いて「してはいけないこと」をはっきりと示している。

<かい答らん>

【絵文字】

【説明】

<出題のねらい>

話し合いの内容を踏まえて絵文字を考える場面である。話し合いで出た様々な意見を踏まえ、適切な絵文字とその理由を選ぶことができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」…自分の考えを伝え、友達と互いに学び合い新たな考えに気付く。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

「話し合いを学習に取り入れてはいるがなかなか深まりが見られない」という悩みの声が多く聞かれます。この場面のように、目的意識や相手意識を明確にもたせた上で、必要感のある話し合い活動に取り組ませることで、より充実した対話的な学びの実現につながります。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 会話文に合った絵文字とその説明について、正しいものを選んでる。	【絵文字】 ④ 【説明】 イ
2	会話文に合った絵文字は正しいものを選んでるが、その説明については正しいものを選んでいない。	【絵文字】 ④ 【説明】 ア (※無解答を含む)
3	会話文に合った説明は正しいものを選んでるが、その絵文字については正しいものを選んでいない。	【絵文字】 ① (※無解答を含む) 【説明】 イ
4	会話文に合った絵文字とその説明の両方について、正しいものを選んでいない。	【絵文字】 ① (※無解答を含む) 【説明】 ア (※無解答を含む)
0	無解答	—

個票への記述
相手にきちんと伝わる絵文字を作るために、友達とアイデアを出し合っていることをよく理かいてきています。今後も自分の考えを伝え友達とたがいに学び合う中で新たな考えに気づき表げんしていきましょう。
相手にきちんと伝わる絵文字を作るために、友達とアイデアを出し合っていることをよく理かいて、正しい絵文字を選んでいます。友達とアイデアを出し合っている場面をよく読むと、絵文字に合う説明を選ぶことができます。
相手にきちんと伝わる絵文字を作るために、友達とアイデアを出し合っていることをよく理かいて、正しい【説明】を選んでいます。友達とアイデアを出し合っている場面をよく読むと、話し合いの結果作った絵文字を選ぶことができます。
相手にきちんと伝わる絵文字を作るために、友達とアイデアを出し合っている場面をよく読むと、話し合いの内容や作った絵文字がわかります。今後も自分の考えを伝え、友達とたがいに学び合う中で新たな考えに気づけるようにしましょう。
相手にきちんと伝わる絵文字を作るために、友達とアイデアを出し合っている場面をよく読むと、話し合いの内容や作った絵文字がわかります。今後も自分の考えを伝え、友達とたがいに学び合う中で新たな考えに気づけるようにしましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
4年	(5)	記述式	8分	易・普通・ 難

問題 5

ひなたさんは、資料1を使ってグループで取り組んだことの結果を全校集会で発表することになりました。資料1をもとにして「ア」に当てはまる言葉を20字以内で入力し、ひなたさんの発言を完成させましょう。

自分のグループで取り組んだことの結果を発表します。資料1を見てください。

11月になって、
ア
ことがわかります。

ひなたさん

資料1
けがをして保健室に来た人数

0/20 文字入力されています

＜出題のねらい＞

資料を正しく読み取るとともに、場面や相手のことをよく考えた上で、伝えたいことの内容を中心をとらえ、わかりやすく発表することができるかどうかをみる。

＜『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連＞

「広げ深める」自分の考えを伝える

＜学習の基盤となる資質・能力＞ 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

＜授業改善の視点＞

自分の考えを伝えるために、相手意識や目的意識を明確にした上で、必要な情報を正しく読み取ったり、分かりやすく文章を組み立てたりしながら発表する力はどの教科でも求められる大切な力です。グラフや表などのデータを基に、考えを伝え合う学習活動を取り入れていきましょう。



＜解答類型と分析＞

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	条件①、②、③を満たしているもの 正答の条件①：前月よりも「減っていること」を書いている。 正答の条件②：「けがをした人数」について書いている。 正答の条件③：「保健室に来た人数」について書いている。	けがをして保健室に来た人数がへっている (19字)
2	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	けがをした人数がへっている (13字)
3	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	保健室に来た人数がへっている (14字)
4	条件①を満たし、条件②、③を満たさないで解答しているもの	へっている (5字)
5	条件①を満たしているが、不明確な情報を書いているもの	ろう下でけがをした人数がへっている (17字)
6	グラフが正しく読み取れていないもの	保健室に来たけが人がふえている (15字)
9	文脈に沿った解答できていない、または上記以外の解答	5月はけが人がふえている (12字) アンケートに答えた人がへっている (16字)
0	無解答	—

個票への記述
グラフを正しく読み取り、けがをして保健室に来た人数がへっていることを理かいています。場面や相手のことをよく考え、伝えたいことの内容を中心をとらえ、わかりやすく発表することができています。
グラフを正しく読み取ることで、けがをした人数がへっていることを理かいています。場面や相手のことを考え、「保健室」に来た人数であることがわかるように発表するとよりよいでしょう。
グラフを正しく読み取り、保健室に来た人数がへっていることを理かいています。場面や相手のことを考え、「けがをした」人数の変わり方であることがわかるように発表するとよりよいでしょう。
伝えるべき内容を正しく伝えることができませんでした。折れ線グラフの変わり方を読み取る際には、問題文やグラフのタイトルをよく読みましょう。場面や相手のことを考え、伝えたいことの内容を中心をとらえると、わかりやすく発表できるようになるでしょう。
伝えるべき内容を正しく伝えることができませんでした。折れ線グラフの変わり方を読み取る際には、問題文やグラフのタイトルをよく読みましょう。
グラフを正しく読み取ることができませんでした。折れ線グラフの変わり方を読み取る際には、線のかたむきに注目しましょう。
グラフを正しく読み取るとうとすることができています。会話をよく読み、前後の文とのつながりを意識すると、より考えが伝わりやすくなります。
グラフを読み取る際には、問題文やグラフのタイトルをよく読みましょう。折れ線グラフは、線のかたむきに注目すると、変わり方を読み取ることができます。また、発表するときには、場面や相手のことを考え、伝えたいことの内容を中心をとらえるとよいでしょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
4年	(6)	選択式	3分	易・普通・難

問題 6

ひなたさんは、これからの学習に生かせるように、課題をかい決するための「考え方のポイント」を下のようにまとめました。今回の活動をふり返り、ア～ウに当てはまる言葉をA～Fの中から1つずつ選びましょう。

身の回りの課題をかい決するための「考え方のポイント」

- ① しまったことやかい決したいことなど、課題をはっきりさせる。
- ② ①をもとに、ア を決める。
- ③ どのようにかい決するかイ をもち、自分で考え、取り組む。
- ④ 友達とウ を出し合い、よりよいものを作る。
- ⑤ 学習のふり返りをする。

A 成果 B 見直し C 目標 D 協力 E 理かい F アイデア

<かい答らん>

ア イ ウ

<出題のねらい>

これまでの学習を振り返り、思考の方法や学習の進め方を理解しているかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「まとめあげる」…思考の過程を振り返る

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

学習を振り返る場面では、児童自身が「見いだす」「自分で取り組む」「広げ深める」「まとめあげる」という学習過程をメタ認知し、自己の成長として捉えることが大切です。児童とともに学習計画を立てたり、自分の言葉でまとめや振り返りを書いたりすることで、新たな問題を発見したり、解決の見通しをもったりするきっかけとなります。様々な教科で学習を振り返る場面を設定し、これからの学習に生かせるように指導していきましょう。



<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 課題を解決するための「考え方のポイント」について、すべて正しいものを選んでいいる。	ア-C イ-B ウ-F
2	課題を解決するための「考え方のポイント」について、2つは正しいものを選んでいいるが、1つは正しいものを選んでいいない。	① ア-C イ-B ウ-F以外 ② ア-C イ-B以外 ウ-F ③ ア-C以外 イ-B ウ-F
3	課題を解決するための「考え方のポイント」について、1つは正しいものを選んでいいるが、2つは正しいものを選んでいいない。	① ア-C イ-B以外 ウ-F以外 ② ア-C以外 イ-B ウ-F以外 ③ ア-C以外 イ-B以外 ウ-F
9	課題を解決するための「考え方のポイント」について、すべて正しいものを選んでいいない。	① ア-C以外 イ-B以外 ウ-F以外
0	無解答	—

個票への記述
これまでの学習の進め方をよく理かいし、ふさわしい言葉を選ぶことができます。これからも自分で学習計画を立てたり、自分の学習の進め方をふり返ったりしながら次の学習に生かしていきましょう。
これまでの学習の進め方を理かいしています。これからは、自分で学習計画を立てたり、自分の学習の進め方に合う言葉や文章を考えてまとめたり、ふり返ったりしていきましょう。
これまでの学習活動をふり返ることが大切です。学習したことについて、自分の言葉でまとめたり、ふり返ったりしていきましょう。
これまでの学習活動をふり返ることが大切です。学習したことについて、自分の言葉でまとめたり、ふり返ったりしていきましょう。
これまでの学習活動をふり返ることが大切です。学習したことについて、自分の言葉でまとめたり、ふり返ったりしていきましょう。